

ドライブ ユーザーガイド

© Copyright 2009 Hewlett-Packard
Development Company, L.P.

Microsoft および Windows は、米国
Microsoft Corporation の米国およびその他の
国における商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更される
ことがあります。HP 製品およびサービスに
関する保証は、当該製品およびサービスに
付属の保証規定に明示的に記載されている
ものに限られます。本書のいかなる内容
も、当該保証に新たに保証を追加するもの
ではありません。本書に記載されている製
品情報は、日本国内で販売されていないも
のも含まれている場合があります。本書の
内容につきましては万全を期しております
が、本書の技術的あるいは校正上の誤り、
省略に対して責任を負いかねますのでご了
承ください。

初版：2009年2月

製品番号：512507-291

製品についての注意事項

このユーザーガイドでは、ほとんどのモデ
ルに共通の機能について説明します。一部
の機能は、お使いのコンピューターでは使
用できない場合があります。

目次

1 ドライブの取り扱い

2 オプティカルドライブの使用

取り付けられているオプティカルドライブの確認	3
オプティカルディスクの使用	4
正しいディスク（CD、DVD、およびBD）の選択	5
CD-R ディスク	5
CD-RW ディスク	5
DVD±R ディスク	5
DVD±RW ディスク	5
LightScribe DVD+R ディスク	5
ブルーレイ ディスク（BD）	6
CD、DVD、またはBDの再生	7
自動再生の設定	8
DVDの地域設定の変更	9
著作権に関する警告	10
CDまたはDVDのコピー	11
CDまたはDVDの作成（書き込み）	12
CD、DVD、またはBDの取り出し	13

3 外付けドライブの使用

4 [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の使用

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の状態の確認	16
停止されたハードドライブでの電源管理	17
[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアの使用	18

5 ハードドライブパフォーマンスの向上

ディスクデフラグの使用	19
ディスククリーンアップの使用	19

6 メインハードドライブベイ内のドライブの交換

7 セカンダリ ハードドライブ ベイ内のドライブの交換

8 トラブルシューティング

オプティカル ディスク トレイが開かず、CD、DVD、またはBD を取り出せない場合	27
コンピューターがCD、DVD、またはBD ドライブを検出しない場合	28
CD、DVD、またはBD が再生できない場合	29
CD、DVD、またはBD が自動再生されない場合	30
CD またはDVD ディスクへの書き込み処理が行われず、または完了する前に終了してしまう 場合	31
DVD またはBD を[Windows Media Player]で再生したときに音や画面が出ない場合	32
デバイス ドライバーを再インストールする必要がある場合	33
Microsoft®デバイス ドライバーの入手	33
HP デバイス ドライバーの入手	34

索引	35
----------	----

1 ドライブの取り扱い

ドライブは壊れやすいコンピュータ部品ですので、取り扱いには注意が必要です。ドライブの取り扱いについては、以下の注意事項を参照してください。必要に応じて、追加の注意事項および関連手順を示します。

△ **注意：** コンピューターやドライブの損傷、または情報の損失を防ぐため、以下の点に注意してください。

外付けハードドライブに接続したコンピューターをある場所から別の場所へ移動させるような場合は、事前にスリープを開始して画面表示が消えるまで待つか、外付けハードドライブを適切に取り外してください。

ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電してください。

リムーバブル ドライブまたはコンピューターのコネクタ ピンに触れないでください。

ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落としたり上に物を置いたりしないでください。

ドライブの着脱を行う前に、コンピューターの電源を切ります。コンピューターの電源が切れているのか、スリープ状態か、またはハイバネーション状態なのかわからない場合は、まずコンピューターの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ドライブをドライブ ベイに挿入するときは、無理な力を加えないでください。

光学ドライブ（一部のモデルのみ）内のディスクへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、コンピューターを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

バッテリーのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前にバッテリーが十分に充電されていることを確認してください。

高温または多湿の場所にドライブを放置しないでください。

ドライブに洗剤などの液体を垂らさないでください。また、ドライブに直接、液体クリーナーなどを吹きかけないでください。

ドライブ ベイからのドライブの取り外し、ドライブの持ち運び、郵送、保管などを行う前に、ドライブからメディアを取り出してください。

ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コレモナー取り扱い注意」と明記してください。

ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をチェックするベルト コンベアなどのセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使用してチェックを行うので、ドライブには影響しません。

2 オプティカルドライブの使用


お使いのコンピューターには、コンピューターの機能を拡張するオプティカルドライブが搭載されています。コンピューターに搭載されているデバイスの種類を識別して、その機能を確認します。オプティカルドライブを使用すると、データディスクを読み取ったり、音楽や動画を再生したりできます。お使いのコンピューターにブルーレイディスクROMドライブが内蔵されている場合は、ディスクからHD対応動画を再生することもできます。

取り付けられているオプティカルドライブの確認

▲ [スタート]→[コンピューター]の順に選択します。

お使いのコンピューターに取り付けられている、オプティカルドライブを含むすべてのデバイスの一覧が表示されます。以下のどれかの種類のドライブが含まれている可能性があります。


- LightScribe DVD±RW/R および CD-RW コンボ ドライブ (2層記録 (DL) 対応)
- LightScribe/スーパーマルチ DVD±R/RW 対応ブルーレイ ディスク ROM ドライブ (2層記録 (DL) 対応)
- スーパーマルチ DVD±R/RW 対応ブルーレイ ディスク ROM ドライブ (2層記録 (DL) 対応)

 **注記：** 一覧には、お使いのコンピューターでサポートされていないドライブが含まれている場合もあります。

オプティカル ディスクの使用


DVD-ROM などのオプティカルドライブは、オプティカルディスク（CD および DVD）に対応しています。これらのディスクには、音楽、写真、および動画などの情報を保存します。DVDの方が、CDより大きい記憶容量を扱うことができます。

オプティカルドライブでは、標準的な CD や DVD ディスクの読み取りができます。お使いのオプティカルドライブがブルーレイディスク ROM ドライブであれば、ブルーレイディスクの読み取りもできます。

 **注記：** ここに示すオプティカルドライブによっては、コンピューターでサポートされていない場合もあります。サポートされているオプティカルドライブのすべてが一覧に記載されているわけではありません。


以下の表に示すように、オプティカルドライブによっては、オプティカルディスクに書き込みができるものもあります。

オプティカルドライブの種類	CD-RW への書き込み	DVD±RW/R への書き込み	DVD+RW DL への書き込み	LightScribe CD または DVD±RW/R へのラベルの書き込み
スーパーマルチ/LightScribe DVD±RW および CD-RW コンボ (2層記録 (DL) 対応)	可	可	可	可
LightScribe/スーパーマルチ DVD±R/RW 対応ブルーレイディスク ROM (2層記録 (DL) 対応)	可	可	可	可
スーパーマルチ DVD±R/RW 対応ブルーレイディスク ROM (2層記録 (DL) 対応)	可	可	可	不可

 **注意：** オーディオやビデオの劣化や情報の損失、または再生機能の損失を防ぐため、CD や DVD の読み取りまたは書き込みをしているときにスリープまたはハイバネーションを開始しないでください。

正しいディスク（CD、DVD、およびBD）の選択

オプティカルドライブは、オプティカルディスク（CD、DVD、およびBD）に対応しています。デジタルデータの保存に使用されるCDは商用の録音にも使用されますが、個人的に保存する必要がある場合にも便利です。DVDおよびBDは、主に動画、ソフトウェア、およびデータのバックアップのために使用します。DVDおよびBDのフォームファクターはCDと同じですが、はるかに大きい容量を扱うことができます。

 **注記：** お使いのコンピューターに取り付けられているオプティカルドライブによっては、この項目で説明している一部のオプティカルディスクに対応していない場合もあります。

CD-R ディスク

CD-R ディスク（ライトワンス）は、主に必要に応じて共有できるデータの永続的なコピーを作成するときに使用します。通常は、以下の用途で使用します。

- サイズの大きいプレゼンテーションの配布
- スキャンした写真やデジタル写真、ビデオクリップ、および書き込みデータの共有
- 独自の音楽CDの作成
- コンピューターのファイルやスキャンした記録資料などの永続的なアーカイブの保存
- ディスク領域を増やすためのハードドライブからのファイルのオフロード

データを記録した後は、データを削除したり書き込んだりすることはできません。

CD-RW ディスク

CD-RW ディスク（再書き込みの可能なCD）は、頻繁にアップデートする必要があるサイズの大きいプロジェクトを保存するときに使用します。通常は、以下の用途で使用します。

- サイズの大きいドキュメントやプロジェクトファイルの開発および管理
- 作業ファイルの転送
- ハードドライブファイルの毎週のバックアップの作成
- 写真、動画、オーディオ、およびデータの継続的な更新

DVD±R ディスク

DVD±R ディスクは、大量の情報を永久的に保存するときに使用します。データを記録した後は、データを削除したり書き込んだりすることはできません。

DVD±RW ディスク

前に保存したデータを削除または上書きしたい場合は、DVD±RW ディスクを使用します。この種類のディスクは、変更できないCDまたはDVDに書き込む前にオーディオや動画の記録テストをするのに最も適しています。

LightScribe DVD+R ディスク

LightScribe DVD+R ディスクは、データ、ホームビデオ、および写真を共有または保存するときに使用します。このディスクは、ほとんどのDVD-ROMドライブやDVDビデオプレーヤーでの読み取り


に対応しています。LightScribe が有効なドライブと LightScribe ソフトウェアを使用すると、ディスクにデータを書き込むだけでなく、ディスクの外側にラベルをデザインして追加することもできます。

ブルーレイ ディスク (BD)

BD は、HD 対応動画などのデジタル情報を保存するための高密度オプティカル ディスク フォーマットです。1 枚の 1 層式ブルーレイ ディスクで 25 GB まで保存でき、これは 4.7 GB の 1 層式 DVD の 5 倍以上の容量です。2 層式のブルーレイ ディスクでは 1 枚で 50 GB まで保存でき、これは 8.5 GB の 2 層式 DVD の 6 倍近くの容量になります。


通常は、以下の用途で使用します。

- 大量のデータの保存
- HD 対応動画の再生と保存
- ビデオ ゲーム

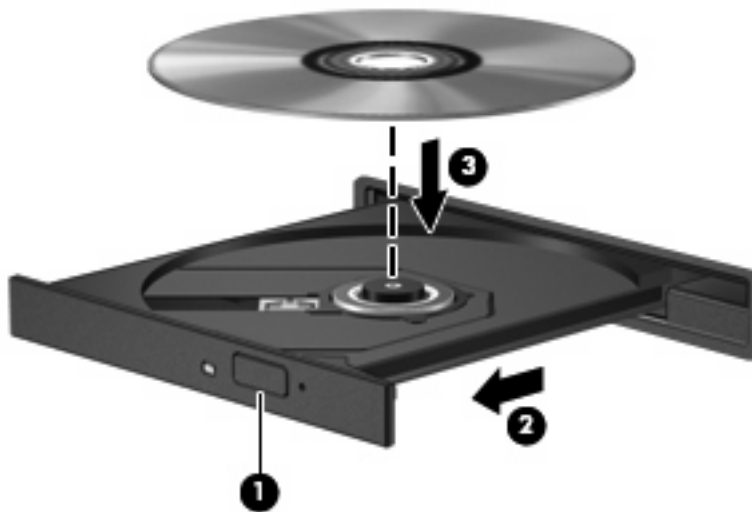
 **注記：** ブルーレイは新技術を搭載した新しいフォーマットであるため、一部のディスク、デジタル接続、互換性、またはパフォーマンスに問題が起こる可能性があります。これは欠陥ではありません。すべてのシステム上での完全な再生は保証されていません。

CD、DVD、またはBDの再生

1. コンピューターの電源を入れます。
2. ドライブのフロントパネルにあるリリースボタン(1)を押して、ディスクトレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します(2)。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。


 **注記：** ディスクトレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまでディスクをゆっくり押し下げます(3)。




6. ディスクトレイを閉じます。

自動再生動作を設定していない場合は、次の項目で説明しているように、[自動再生]ダイアログボックスが開きます。メディアコンテンツの使用方法を選択するように要求されます。


 **注記：** 最適な状態で使用するためには、BDの再生中はACアダプターを外部電源に接続していることを確認してください。

自動再生の設定

1. [スタート] → [コントロール パネル] → [CD または他のメディアの自動再生]の順に選択します。
2. [すべてのメディアとデバイスで自動再生を使用する]チェック ボックスにチェックが入っていることを確認します。
3. [初期設定を選択する]をクリックし、一覧に表示されている各メディアの種類から、使用可能なオプションのどれかを選択します。

 **注記：** DVD メディアを再生する場合は[HP MediaSmart]を選択します。

4. [保存]をクリックします。

 **注記：** 自動再生について詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

DVD の地域設定の変更

著作権で保護されているファイルを使用する多くの DVD には地域コードがあります。地域コードによって著作権は国際的に保護されます。

地域コードがある DVD を再生するには、DVD の地域コードが DVD ドライブの地域の設定と一致している必要があります。


△ **注意：** DVD ドライブの地域設定は、5 回までしか変更できません。

5 回目に選択した地域設定が、DVD ドライブの最終的な地域設定になります。

ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、[DVD 地域]タブに表示されます。

オペレーティング システムで設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コンピューター]→[システムのプロパティ]の順に選択します。
2. 左側のパネルで、[デバイス マネージャー]をクリックします。

 **注記：** Windows®には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント調整機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

3. [DVD/CD-ROM ドライブ]の横のプラス記号（+）をクリックします。
4. 地域設定を変更する DVD ドライブを右クリックして、次に[プロパティ]をクリックします。
5. [DVD 地域]タブをクリックして、設定を変更します。
6. [OK]をクリックします。

著作権に関する警告

コンピュータープログラム、映画や映像、放送内容、録音内容など、著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピューターをそのような目的に使用しないでください。

△ **注意：** 情報の損失やディスクの損傷を防ぐために、以下のガイドラインを参考にしてください。

ディスクに書き込む前に、コンピューターを安定した外部電源に接続してください。コンピューターがバッテリー電源で動作しているときは、ディスクに書き込まないでください。

ディスクに書き込む前に、使用しているディスク ソフトウェア以外は、開いているすべてのプログラムを閉じてください。

コピー元のディスクからコピー先のディスクへ、またはネットワーク ドライブからコピー先のディスクへ直接コピーしないでください。その情報をハードドライブに保存し、次にハードドライブからコピー先のディスクに書き込みます。

ディスクへの書き込み中にキーボードを使用したり、コンピューターを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

☞ **注記：** コンピューターに付属しているソフトウェアの使用については、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ディスクに収録されているか、ソフトウェアのヘルプに含まれているか、またはソフトウェアの製造元の Web サイトから入手できます。

CD または DVD のコピー

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[CyberLink DVD Suites]（CyberLink DVD スイート） → [Power2Go]の順に選択します。
2. コピーするディスクをオプティカルドライブに挿入します。
3. 画面右下の[コピー]をクリックします。

コピー元のディスクが読み取られ、そのデータがハードドライブの一時フォルダーにコピーされます。

4. メッセージが表示されたら、コピー元のディスクをオプティカルドライブから取り出して、空のディスクをドライブに挿入します。


データがコピーされると、自動的にトレイが開いて作成したディスクが出てきます。

CD または DVD の作成（書き込み）

お使いのコンピューターに CD-RW、DVD-RW、または DVD±RW のオプティカルドライブが搭載されている場合は、[Windows Media Player]または[CyberLink Power2Go]などのソフトウェアを使用して、MP3 や WAV 音楽ファイルなどのデータ、動画、およびオーディオ ファイルを書き込むことができます。

CD または DVD に書き込むときは、以下のガイドラインを参照してください。


- ディスクに書き込む前に、開いているファイルをすべて終了し、すべてのプログラムを閉じます。
- 通常、オーディオ ファイルの書き込みには CD-R または DVD-R が最適です。これはデータがコピーされた後、変更ができないためです。

 **注記：** [CyberLink Power2Go]では、オーディオ DVD を作成することはできません。

- ホーム ステレオやカー ステレオによっては CD-RW を再生できないものもあるため、音楽 CD の書き込みには CD-R を使用します。
- 通常、CD-RW または DVD-RW は、データ ファイルの書き込みや、変更できない CD または DVD に書き込む前のオーディオまたはビデオ録画のテストに最適です。
- 通常、家庭用のシステムで使用される DVD プレーヤーは、すべての DVD フォーマットに対応しているわけではありません。対応しているフォーマットの一覧については、DVD プレーヤーに付属の説明書を参照してください。
- MP3 ファイルは他の音楽ファイル形式よりファイルのサイズが小さく、また、MP3 ディスクを作成するプロセスはデータ ファイルを作成するプロセスと同じです。MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーまたは MP3 ソフトウェアがインストールされているコンピューターでのみ再生できます。

CD または DVD にデータを書き込むには、以下の操作を行います。

1. 元のファイルを、ハードドライブのフォルダーにダウンロードまたはコピーします。
2. 空の CD または DVD をオプティカルドライブに挿入します。
3. [スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択し、使用するソフトウェアの名前を選択します。

 **注記：** サブフォルダーに含まれているプログラムもあります。


4. 作成する CD または DVD の種類（データ、オーディオ、またはビデオ）を選択します。
5. [スタート]を右クリックしてから[エクスプローラー]をクリックし、元のファイルが保存されているフォルダーに移動します。
6. フォルダーを開き、空のオプティカル ディスクのあるドライブにファイルをドラッグします。
7. 選択したプログラムの説明に沿って書き込み処理を開始します。

手順について詳しくは、それぞれのソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ソフトウェアに含まれているか、ディスクに収録されているか、またはソフトウェアの製造元の Web サイトから入手できます。

- △ **注意：** 著作権に関する警告に従ってください。コンピューター プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容など、著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピューターをそのような目的に使用しないでください。

CD、DVD、またはBDの取り出し

1. ドライブのフロントパネルにあるリリース ボタン (1) を押してディスク トレイを開き、トレイをゆっくりと完全に引き出します (2)。
2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します (3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出します。




3. ディスク トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

3 外付けドライブの使用

外付けのリムーバブルドライブを使用すると、情報を保存したり、情報にアクセスしたりできる場所が拡大されます。USBドライブを追加するには、コンピューターまたは別売のドッキングデバイス（一部のモデルのみ）のUSBコネクタに接続します。

USBドライブには、以下のような種類があります。

- 1.44 MB フロッピー ディスク ドライブ
- ハードドライブ モジュール（アダプターが装備されているハードドライブ）
- DVD-ROM ドライブ
- DVD-ROM/CD-RW コンボ ドライブ
- DVD±RW および CD-RW コンボ ドライブ

 **注記：** 必要なソフトウェアやドライバー、および使用するコンピューターのコネクタの種類について詳しくは、デバイスに付属の説明書を参照してください。

外付けドライブをコンピューターに接続するには、以下の操作を行います。

△ **注意：** 装置が損傷することを防ぐため、別電源が必要なドライブを接続するときは、ドライブの電源コードを差し込んでいないことを確認してください。

1. ドライブをコンピューターに接続します。
2. 別電源が必要なドライブを接続した場合は、ドライブの電源コードを、接地した外部電源のコンセントに差し込みます。


別電源が必要なドライブを取り外すときは、コンピューターからドライブを取り外した後、ドライブの外部電源コードを抜きます。

4 [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の使用

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]は、以下のどちらかの場合にドライブを一時停止し、入出力要求を中止することによって、ハードドライブを保護するシステムです。

- バッテリ電源で動作しているときにコンピューターを落下させた場合
- バッテリ電源で動作しているときにディスプレイを閉じた状態でコンピューターを移動した場合

これらのどれかが発生して終了すると間もなく、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]はハードドライブを通常動作に戻します。

 **注記：** ハードドライブ ベイのハードドライブは[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]で保護されます。USB コネクタに接続されているハードドライブは、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]では保護されません。


詳しくは、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の状態の確認

コンピューターのドライブランプが点灯し、ハードドライブが停止していることを示します。ドライブが現在保護されているか、または停止しているかを確認するには、[スタート]→[コントロールパネル]→[モバイルコンピューター]→[Windows モビリティ センター]の順に選択します。


[Windows モビリティ センター]には、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の状態も表示されます。

- ソフトウェアが有効の場合、緑色のチェックマークがハードドライブアイコンに重なって表示されます。
- ソフトウェアが無効の場合、白い斜線がハードドライブアイコンに重なって表示されます。
- ドライブが一時停止している場合は、黄色の月がハードドライブアイコンの上に重なって表示されます。

 **注記：** [Windows モビリティセンター]のアイコンは、ドライブの最新の状態を示していない場合があります。状態が変更されたらすぐに表示に反映されるようにするには、通知領域のアイコンを有効にします。

通知領域のアイコンを有効にするには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の順に選択します。


 **注記：** ユーザー アカウント調整のウィンドウが表示されたら、[許可]をクリックします。

2. [システムトレイ上のアイコン]行で[表示]をクリックします。
3. [OK]をクリックします。

停止されたハードドライブでの電源管理

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]によってドライブが停止された場合、コンピューターは以下の状態になります。

- シャットダウンができない
- 次の注記に示す場合を除いて、スリープまたはハイバネーションを開始できない


 **注記：** コンピューターがバッテリー電源で動作中に完全なロー バッテリ状態になった場合は、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]で停止されたドライブであってもハイバネーションが開始されます。

- [電源オプションのプロパティ]の[アラーム]タブで設定するバッテリー アラームを有効にできない
コンピューターを移動する前に、完全にシャットダウンするか、スリープまたはハイバネーションを開始します。

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアの使用

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアでは、以下のタスクを実行できます。

- [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]を有効または無効にする。

 **注記：** [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の有効または無効への切り替えが許可されているかどうかは、ユーザーの権限によって異なります。なお、Administrator グループのメンバーは Administrator 以外のユーザーの権限を変更できます。

- システムのドライブがサポートされているかどうかを確認する。

ソフトウェアを開いて設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. [Windows モビリティ センター]でハードドライブ アイコンをクリックして、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ウィンドウを開きます。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の順に選択します。

2. 適切なボタンをクリックして設定を変更します。
3. [OK]をクリックします。

5 ハードドライブ パフォーマンスの向上

ディスク デフラグの使用


コンピューターを使用しているうちに、ハードドライブ上のファイルが断片化されてきます。ディスク デフラグを行うと、ハードドライブ上の断片化したファイルやフォルダーを集めてより効率よく作業を実行できるようになります。

いったんディスク デフラグを開始すれば、動作中に操作する必要はありません。ハードドライブのサイズと断片化したファイルの数によっては、完了まで1時間以上かかることがあります。そのため、夜間やコンピューターにアクセスする必要のない時間帯に実行することをおすすめします。

少なくとも1か月に1度、ハードドライブのデフラグを行うことをおすすめします。ディスク デフラグは1か月に1度実行するように設定できますが、手動でいつでもコンピューターのデフラグを実行できます。

ディスク デフラグを実行するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク デフラグ]の順に選択します。
2. [今すぐ最適化]をクリックします。

 **注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント調整機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

詳しくは、ディスク デフラグ ソフトウェアのヘルプを参照してください。

ディスク クリーンアップの使用

ディスク クリーンアップを行うと、ハードドライブ上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増し、より効率よく作業を実行できるようになります。

ディスク クリーンアップを実行するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク クリーンアップ]の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

6 メインハードドライブベイ内のドライブの交換

△ **注意：** データの損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

ハードドライブベイからハードドライブを取り外す前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、ハードドライブを取り外さないでください。

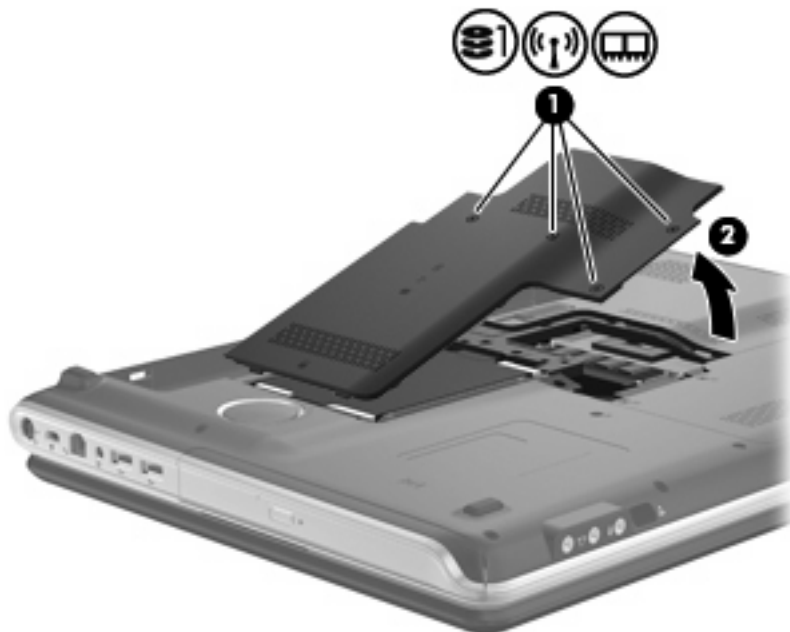
コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティングシステムの通常の手順でシャットダウンします。

☞ **注記：** メインハードドライブベイのカバーには「1」、セカンダリハードドライブベイのカバーには「2」と印がつけられています。

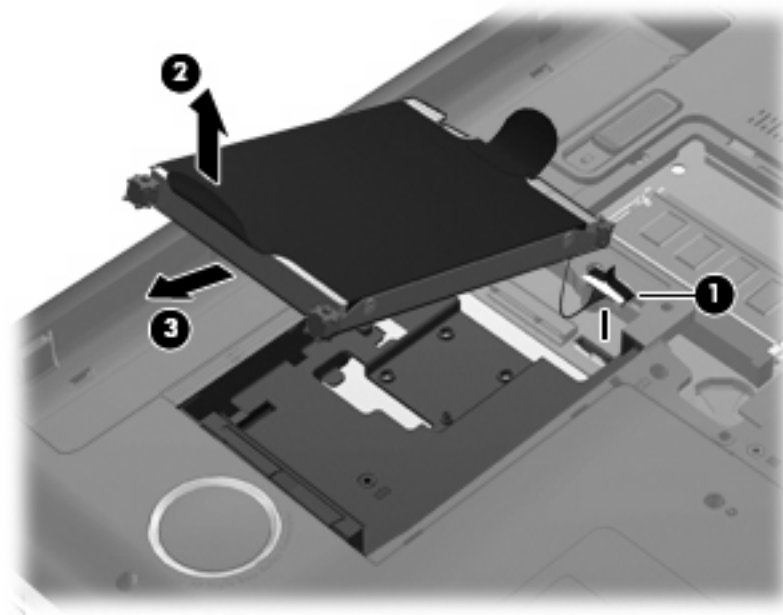
メインハードドライブを取り外すには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けハードウェアデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き、コンピューターの電源コネクタから AC アダプターを取り外します。
5. コンピューターのハードドライブベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. コンピューターからバッテリーを取り外します。
7. ハードドライブカバーの4つのネジ (1) を緩めます。

8. ハードドライブ カバーを持ち上げて (2)、コンピューターから取り外します。



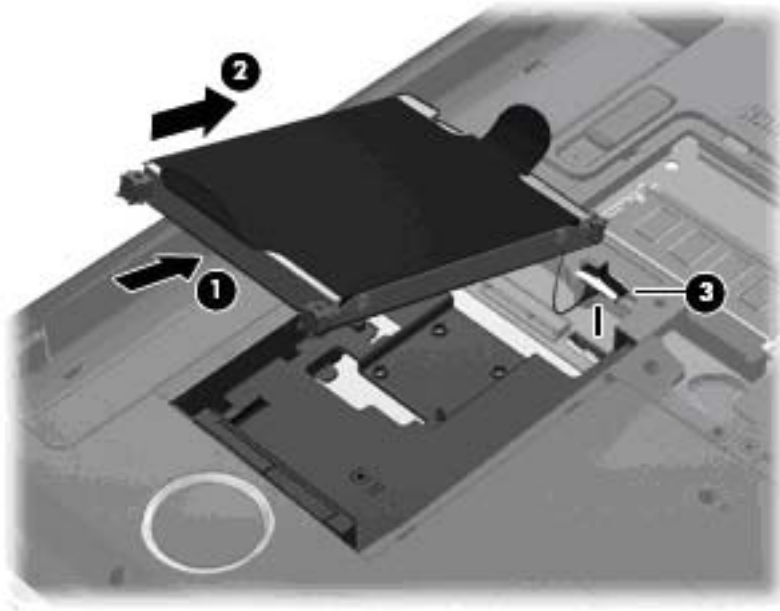
9. ハードドライブ ケーブル上のプラスチック製タブ (1) をしっかりと引いて、ハードドライブ ケーブルをシステム ボードから取り外します。
10. ハードドライブの左側にあるタブを使用してハードドライブを 45° の角度になるまで持ち上げて (2)、コンピューターからハードドライブを取り外します (3)。



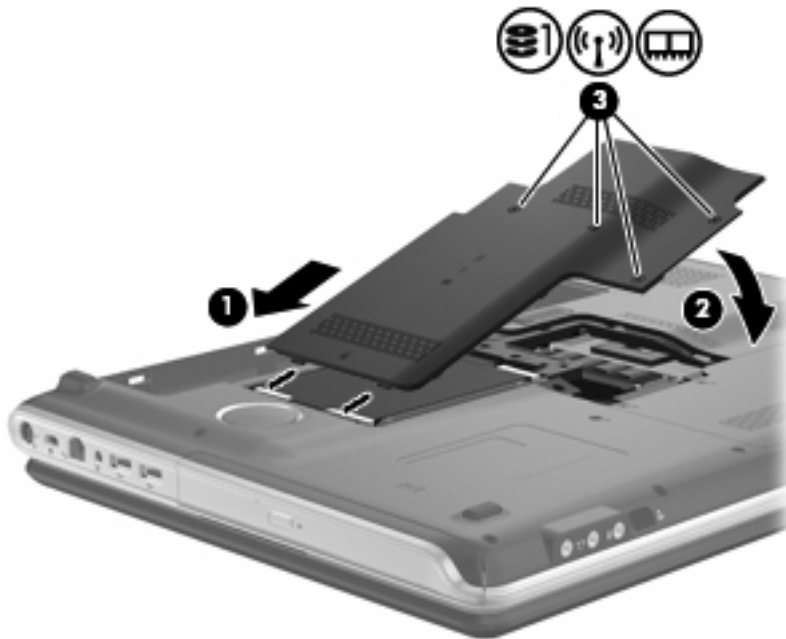
メインハードドライブを取り付けるには、以下の操作を行います。

1. ハードドライブをハードドライブ ベイに挿入します (1)。
2. ハードドライブ上のタブを使用してハードドライブを右方向に引き、ゴムのスペーサーをハードドライブ ベイの右側の開口部に押し込みます (2)。

3. ハードドライブ ケーブルをシステム ボードのハードドライブ コネクタ (3) に接続します。



4. ハードドライブ カバーのタブを、コンピューターのかぼみに合わせます (1)。
5. ハードドライブ カバーを閉じます (2)。
6. ハードドライブ カバーのネジ (3) を締めます。



7 セカンダリ ハードドライブ ベイ内のドライブの交換

コンピューターには、セカンダリ ハードドライブ ベイが装備されています。このベイは空けておくことも、セカンダリ ハードドライブを装着することもできます。

△ **注意：** データの損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

セカンダリ ハードドライブ ベイからドライブを取り外す前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、ドライブを取り外さないでください。

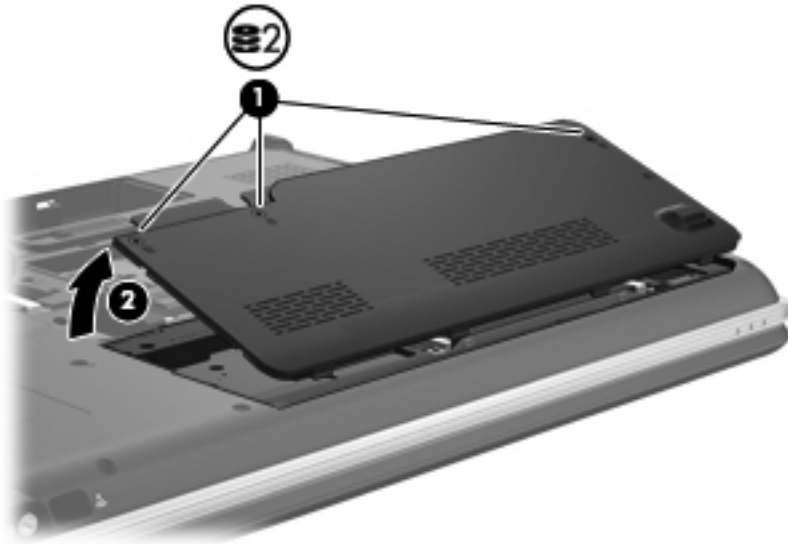
コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

🔍 **注記：** メインハードドライブ ベイのカバーには「1」、セカンダリ ハードドライブ ベイのカバーには「2」と印がつけられています。

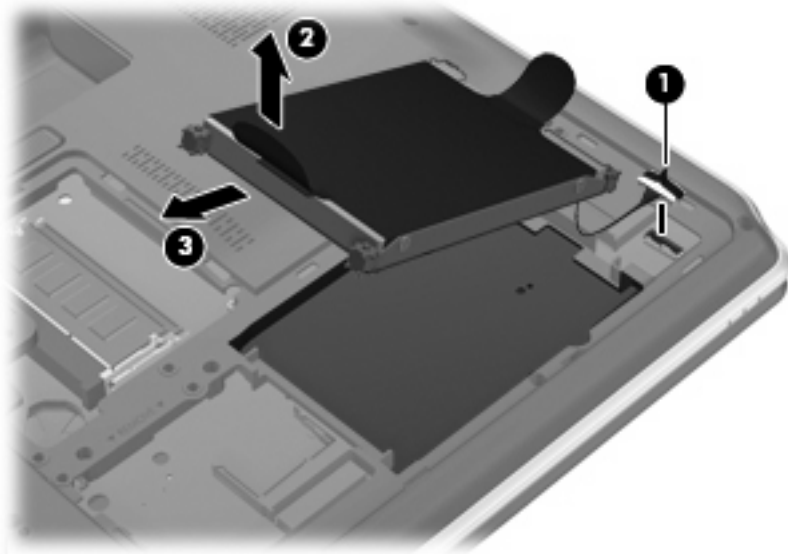
セカンダリ ハードドライブ ベイからドライブを取り外すには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けハードウェア デバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き、コンピューターの電源コネクタから AC アダプターを取り外します。
5. コンピューターのセカンダリ ハードドライブ ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. コンピューターからバッテリーを取り外します。
7. セカンダリ ハードドライブ ベイの3つのネジ (1) を緩めます。

8. セカンダリ ハードドライブ ベイのカバーを取り外します (2)。



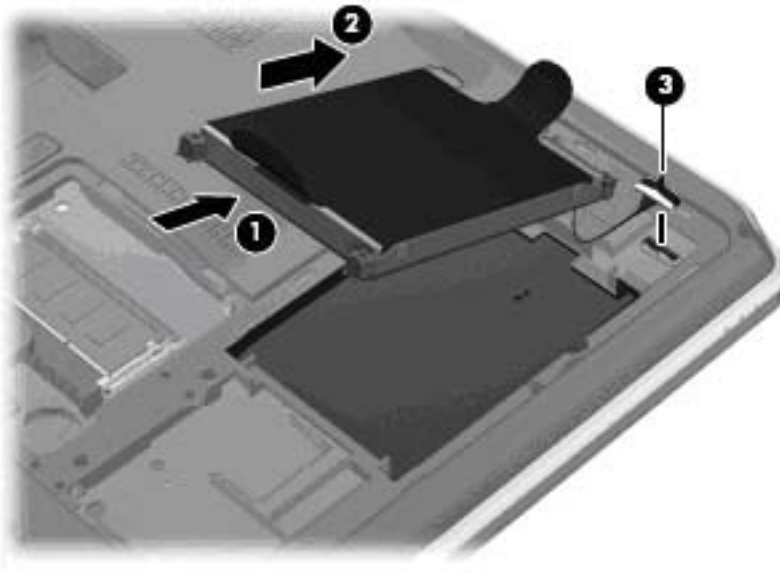
9. ハードドライブ ケーブル上のプラスチック製タブ (1) をしっかりと引いて、ハードドライブ ケーブルをシステム ボードから取り外します。
10. ハードドライブの左側にあるタブを使用してハードドライブを45°の角度になるまで持ち上げて (2)、コンピュータからハードドライブを取り外します (3)。



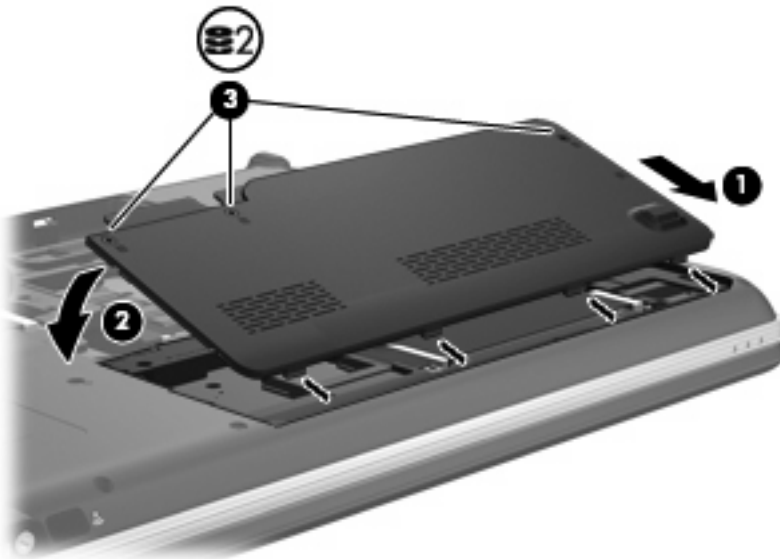
セカンダリ ハードドライブ ベイにドライブを取り付けるには、以下の操作を行います。

1. ハードドライブをハードドライブ ベイに挿入します (1)。
2. ハードドライブ上のタブを使用してハードドライブを右方向に引き、ゴムのスペーサーをハードドライブ ベイの右側の開口部に押し込みます (2)。

3. ハードドライブ ケーブルをシステム ボードのハードドライブ コネクタに接続します (3)。



4. ハードドライブ カバーのタブを、コンピューターのかぼみに合わせます (1)。
5. ハードドライブ カバーを閉じます (2)。
6. セカンダリ ハードドライブ ベイのカバーのネジ (3) を締めます。




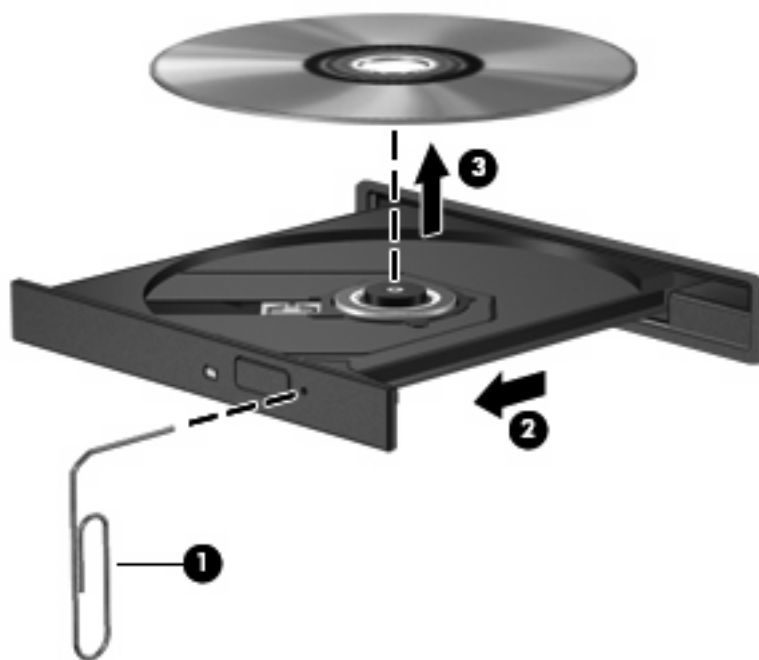
8 トラブルシューティング

ここでは、一般的な問題と解決方法について説明します。

光学ディスクトレイが開かず、CD、DVD、またはBDを取り出せない場合

1. ドライブのフロントパネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ(1)の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、ディスクトレイが開いたら、トレイを完全に引き出します(2)。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します(3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出します。



4. ディスクトレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

コンピューターが CD、DVD、または BD ドライブを検出しない場合

Windows が取り付けられているデバイスを検出しない場合、そのデバイスのドライバー ソフトウェアがないか、壊れている可能性があります。オプティカルドライブが検出されていないことが疑われる場合は、そのオプティカルドライブが[デバイス マネージャー]ユーティリティに一覧表示されていることを確認してください。

1. オプティカルドライブからディスクを取り出します。
2. [スタート]をクリックし、[検索の開始]ボックスに「デバイス マネージャー」と入力します。
入力すると、検索結果がボックスの上に一覧表示されます。
3. 検索結果の枠内で、[デバイス マネージャー]をクリックします。ユーザー アカウントコントロールによってメッセージが表示されたら、[続行]をクリックします。
4. [デバイス マネージャー]ウィンドウで、マイナス記号（-）がすでに表示されている場合を除き、[DVD/CD-ROM ドライブ]の横のプラス記号（+）をクリックします。オプティカルドライブの一覧を確認します。

ドライブが表示されていない場合は、「デバイス ドライバーを再インストールする必要がある場合」セクションの説明に沿って、デバイス ドライバーをインストール（または再インストール）します。

CD、DVD、またはBDが再生できない場合

- ディスクを再生する前に作業中のデータを保存して、開いているすべてのプログラムを閉じます。
- ディスクを再生する前にインターネットをログオフします。
- ディスクを正しく挿入していることを確認します。
- ディスクが汚れていないことを確認します。必要に応じて、ろ過水や蒸留水で湿らせた柔らかい布でディスクを清掃します。ディスクの中心から外側に向けて拭いてください。
- ディスクに傷がついていないことを確認します。傷がある場合は、一般の電気店やCDショップなどで入手可能なオプティカルディスクの修復キットで修復を試みることもできます。
- ディスクを再生する前にスリープモードを無効にします。

ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープを開始しないでください。ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープを開始すると、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。**[いいえ]**をクリックすると以下のようになります。

- 再生が再開します。

または

- マルチメディアプログラムの再生ウィンドウが閉じます。ディスクの再生に戻るには、マルチメディアプログラムの**[再生]**ボタンをクリックしてディスクを再起動します。場合によっては、プログラムを終了してから再起動する必要が生じることもあります。
- システムのリソースを増やします。
 - プリンターとスキャナーの電源を切り、カメラと携帯電話デバイスの電源ケーブルを抜きます。これらのプラグアンドプレイデバイスを切断することで、システムリソースが解放され、再生パフォーマンスが向上されます。
 - デスクトップの色のプロパティを変更します。16ビットを超える色の違いは人間の目では簡単に見分けられないため、以下の方法でシステムの色のプロパティを16ビットの色に下げても、動画の再生時の色の違いは気にならないでしょう。
 1. コンピューターデスクトップの空いている場所を右クリックし、**[個人設定]**→**[画面の設定]**の順に選択します。
 2. 設定がまだ選択されていない場合は、**[画面の色]**を**[中 (16 ビット)]**に設定します。

CD、DVD、または BD が自動再生されない場合

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[CD または他のメディアの自動再生]の順にクリックします。
2. [すべてのメディアとデバイスで自動再生を使用する]チェック ボックスにチェックが入っていることを確認します。
3. [保存]をクリックします。

これで、ディスクをオプティカルドライブに挿入したときに自動的に再生されます。


CD または DVD ディスクへの書き込み処理が行われず、または完了する前に終了してしまう場合

- 他のプログラムがすべて終了していることを確認します。
- スリープモードおよびハイバネーションを無効にします。
- お使いのドライブに適した種類のディスクを使用していることを確認します。ディスクの種類について詳しくは、ディスクに付属の説明書を参照してください。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。
- より低速の書き込み速度を選択し、再試行します。
- ディスクをコピーしている場合は、コピー元のディスクのコンテンツを新しいディスクに書き込む前に、その情報をハードドライブへコピーし、ハードドライブから書き込みます。
- [デバイス マネージャー]の[DVD/CD-ROM ドライブ]カテゴリにあるディスク書き込みデバイスのドライバーを再インストールします。

DVD または BD を[Windows Media Player]で再生したときに音や画面が出ない場合

[HP MediaSmart]を使用して DVD または BD を再生してください。[HP MediaSmart]はコンピューターにインストールされています。また、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/jp>からも入手できます。

デバイス ドライバーを再インストールする必要がある場合

1. オプティカルドライブからディスクを取り出します。
 2. [スタート]をクリックし、[検索の開始]ボックスに「デバイス マネージャー」と入力します。
入力すると、検索結果がボックスの上に一覧表示されます。
 3. 検索結果の枠内で、[デバイス マネージャー]をクリックします。ユーザー アカウント コントロールによってメッセージが表示されたら、[続行]をクリックします。
 4. [デバイス マネージャー]で、マイナス記号がすでに表示されている場合を除き、アンインストールまたは再インストールするドライバーの種類（DVD/CD-ROM、モデムなど）の横にあるプラス記号（+）をクリックします。
 5. 表示されているドライバーをクリックし、delete キーを押します。確認のメッセージが表示されたら、ドライバーを削除することを確認します。ただし、コンピューターは再起動しないでください。
削除するその他のすべてのドライバーでこの操作を繰り返します。
 6. [デバイス マネージャー]ウィンドウで、ツールバーの[ハードウェア変更のスキャン]アイコンをクリックします。Windows はシステムをスキャンしてインストールされているハードウェアを検出し、ドライバーを必要とするデバイスに対して初期設定のドライバーをインストールします。
-  **注記：** コンピューターを再起動する画面が表示された場合は、開いているファイルをすべて保存してから再起動を続行します。
7. 必要に応じて[デバイス マネージャー]を再び開き、ドライバーが表示されていることをもう一度確認します。
 8. プログラムを再度実行します。

初期設定のデバイス ドライバーをアンインストールまたは再インストールしても問題が解決されない場合は、以下の項目の手順に沿ってドライバーを更新する必要があります。

Microsoft®デバイス ドライバーの入手

[Microsoft Update]を使用すると、最新の Windows デバイス ドライバーを入手できます。この Windows の機能では、Windows オペレーティング システムおよび Microsoft 社のその他の製品の更新を自動的に確認し、インストールするように設定できます。

[Microsoft Update]を使用するには、以下の操作を行います。

1. インターネット ブラウザーを開いて、<http://www.microsoft.com/ja/jp/default.aspx> を表示します。
2. [セキュリティ&アップデート]をクリックします。
3. [Microsoft Update]をクリックしてコンピューターのオペレーティング システム、プログラム、およびハードウェアの最新の更新情報を入手します。
4. 画面の説明に沿って操作し、[Microsoft Update]をインストールします。ユーザー アカウント コントロールによってメッセージが表示されたら、[続行]をクリックします。

5. **[変更する]**をクリックして、**[Microsoft Update]**で Windows オペレーティング システムおよび Microsoft 社のその他の製品のアップデートを確認する時間を選択します。
6. コンピューターの再起動を求めるメッセージが表示されたら、コンピューターを再起動します。

HP デバイス ドライバーの入手

HP デバイス ドライバーを入手するには、以下のどちらかの手順で操作します。

[HP Update Utility]を使用するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP]**→**[HP Update]** (HP アップデート) の順に選択します。
2. [HP Welcome] (HP へようこそ) 画面で、**[設定]**をクリックし、ユーティリティが Web 上でソフトウェアの更新を確認する時間を選択します。
3. **[Next]** (次へ) をクリックして HP のソフトウェアの更新を確認します。

HP の Web サイトを使用するには、以下の操作を行います。

1. インターネット ブラウザーを開いて、<http://www.hp.com/jp/support/>を表示します。
2. [ドライバー&ソフトウェアをダウンロードする]オプションをクリックし、[製品名・番号で検索] フィールドにお使いのコンピューターの製品名または製品番号を入力してから、**enter** キーを押します。

または

特定の SoftPaq が必要な場合は、**[製品名・番号で検索]**フィールドに SoftPaq 番号を入力し、**enter** キーを押して直接検索することもできます。手順 6 に進んでください。

3. 一覧に表示されたモデルから特定の製品をクリックします。
4. Windows Vista®オペレーティング システムをクリックします。
5. ドライバーの一覧が表示されたら、更新されたドライバーをクリックして追加の情報を含むウィンドウを開きます。
6. ファイルをダウンロードしないで更新されたドライバーをインストールするには、**[Install Now]** (今すぐインストール) をクリックします。

または

コンピューターにファイルを保存するには、**[Download only]** (ダウンロードのみ) をクリックします。メッセージが表示されたら、**[保存]**をクリックして、ハードドライブ上のファイルを保存する場所を選択します。

ファイルをダウンロードしたらファイルを保存したフォルダーに移動し、ファイルをダブルクリックしてインストールします。

7. インストールが完了した後に、コンピューターの再起動を求めるメッセージが表示された場合はコンピューターを再起動して、デバイスの動作を確認します。

索引

B

BD
再生 7
取り出し 13

C

CD
書き込み 12, 31
コピー 11
再生 7
ドライブ 2, 14
取り出し 13

D

DVD
書き込み 12, 31
コピー 11
再生 7
地域設定の変更 9
地域設定 9
ドライブ 2, 14
取り出し 13

H

HP ProtectSmart Hard Drive
Protection 15

L

LightScribe/スーパーマルチ
DVD±R/RW 対応ブルーレイ ディ
スク ROM (2層記録 (DL) 対
応) 4

お

光学ディスク
再生 7
取り出し 13
光学ドライブ 2, 14

く

空港のセキュリティ装置 1

し

自動再生 8

す

スーパーマルチ DVD±R/RW 対応
ブルーレイ ディスク ROM (2層
記録 (DL) 対応) 4
スーパーマルチ/LightScribe
DVD±RW および CD-RW コンボ
(2層記録 (DL) 対応) 4

せ

セカンダリ ハードドライブ、交
換 23

そ

外付けドライブ 14
ソフトウェア
ディスク クリーンアップ 19
ディスク デフラグ 19

ち

地域コード、DVD 9
著作権に関する警告 10

て

ディスク クリーンアップソフトウェ
ア 19
ディスク デフラグ ソフトウェ
ア 19
ディスク パフォーマンス 19
デバイス ドライバー
HP ドライバー 34
Windows ドライバー 33

と

ドライブ
光学 2, 14
外付け 14
取り扱い 1
ハード 14, 20, 21, 23
フロッピーディスク 14
ランプ 16
ハードドライブ、光学
ドライブも参照
トラブルシューティング
HP デバイス ドライバー 34
Windows ドライバー 33
光学 ディスクトレ
イ 27
光学ドライブ検
出 28
ディスクの再生 29, 30
ディスクへの書き込み 31
デバイス ドライバー 33

は

ハードドライブ
HP ProtectSmart Hard Drive
Protection 15
セカンダリ、取り付け 24
外付け 14
メイン、取り付け 21

ふ

フロッピーディスク ドライブ 14

め

メイン ハードドライブ、交換 20
メンテナンス
ディスク クリーンアップ 19
ディスク デフラグ 19

ら
ランプ
ドライブ 16

